

夢を乗せ! 希望を胸に! 「シャトル」で地球を一周しよう

日本バドミントン協会では、「TOKYO2020 応援プログラム」として、

「ラリーラリー・プログラム」を展開します。

シャトルを打ち合い、その飛んだ距離を合算して、

地球を一周(4万75キロ)しようという壮大な試みです。

バドミントンのシャトルといえば、最速400キロを超えともいわれます。

ラケットから飛び出したシャトルが、「世界」を一つの輪につなぎ、
一体感を持って“世界の仲間”が東京オリンピック、パラリンピックに集まるのです。



今回の「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」で実施される この「ラリーラリー・プログラム」の内容は以下の通りです。

○**行う時** 予選リーグのすべての対抗戦
で、試合開始前の1分間。

○**行う人** 対戦する両チームの6年生シ
ングルスと5年生シングルの
選手。

○**行う形** 計測するのは、ラリー総数と、
シャトルを落とさずに打ち続け
ることができた最多のラリー
数の2種類。

○**数える人** 計測は6年生ダブルスの選手
が行い、主審が1分間を計る。

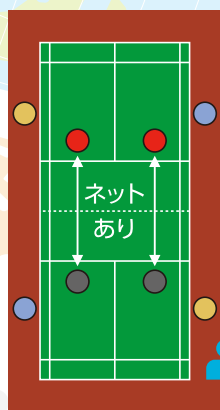
○**計測の後** 行った選手名と、計測した結果
を日本バドミントン協会に後
日、報告する。

ラリーラリー Rally-Rally

シャトルを打ち合った数の記録はどこまで伸ばせたか?
みんなの力をあわせてシャトルを地球1周飛ばせるか?

打ち続ける数の新記録に挑戦!

みんなが打った距離を合計し、シャトルを地球一周させよう



立会人

ネットをはさんで、半面コートを使う。打ち合う間隔は4メートル。ネットの上を越えたラリーが有効。途中で、シャトルを打つために前に出たり、下がったりしても良いが、4mに戻るようにする。床に落ちたシャトルはすぐ拾い、4mの位置に戻って続けられる。